



St. Luke's International University Chapel

聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 TEL 03-5550-2416 (事務室)

E-mail : chapel@luke.ac.jp URL <http://nsskk.org/tokyo/church/luke>

マルコ福音書 10 : 17-27 (聖霊降臨後第 21 主日、2024/10/13)

## 「 欠けている一つ 」

チャプレン ヨナ 成成鍾 司祭

一人の青年がいました。何をして金儲けをしたのか分かりませんが、若いわりに相当金持ちでした。かなり誠実で有能な青年だったようです。そのような彼がキリストのところに走り寄ってひざまずき、何をすれば永遠の命を受け継ぐことができるのかと尋ねました。もしかしたら、彼は弟子になりたいくてキリストを探していたかもしれません。キリストは、彼に律法の掟を知っているのかとお聞きになりました。彼は知っているだけではなく、子どもの頃からすべて守ってきたと答えました。するとキリストは、彼を見つめ、慈しんで「あなたに欠けているものが一つある。」(21 節)と言われました。そして持っている物を貧しい人々に施すように、そうすれば救われると教えられました。ところが、残念なことに金持ちの青年はキリストのその言葉に顔を曇らせ、悩みながら立ち去りました。それでキリストは、「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通るほうがまだ易しい。」(25 節)と語られました。

長年の人生経験がある方はお分かりになると思いますが、私たちが生きるために必要とされているもの、例えば金や家など形のあるものから家族や命など形を超えているものまでも、本質を突き詰めてみますとすべては神様から与えられているものなのです。つまり、すべては神様のものであって、私たちはそれをこの世にいる間に一時的に授かっているだけなのです。執着したとしてもあの世に持っていくことができるものは何一つありません。それゆえ、執着するのではなく、むしろ手放すことによって、心の中にある見えない針の穴を通れるようになり、永遠の命が約束されている神の国へ入ることができるようになるのです。

らくだが針の穴を通るといふたとえ話は聖書についての理解があまりない方にも知られて、キリスト者の場合は日曜学校の頃からよく聞いているお話です。しかし、この物語は実際に世に存在する金持ちが天の国に入るのはらくだが針の穴を通ることより難しい、という内容として誤解されることもあります。この物語の焦点は、金持ちという存在だけの話ではありません。救いに至らないということは、お金や財産を沢山持っている金持ちだからなのではなく、何かに執着しているからなのです。この世での人生のために一時的に与えられているものを自分のものだと勘違いし、それらのことを手放して神の国や永遠の命を選択しようとしなないことが原因になるわけです。それは、愚かな猿が壺の中にあるものを握り締めて手を離さないために、その壺から手が出せなくなっている状態に喩えられます。そういう意味で、救いとは心の手で握っているものを手放すことから始まると言えます。

キリストは金持ちの青年に「あなたには欠けているものが一つある」と言われましたが、その一つのことを彼のすべてでした。彼はその一つのことを手放すことができなかつたので、永遠の命を得て救われるチャンスを逃してしまいました。救いこそが人生をかけるべきすべてだとも言えますが、彼はその一つのことを手放さず心の手で握っていたために、すべてを失ってしまったのです。誰にでも手放したくないものがあります。人によってお金、学歴、名誉、仕事、家族、趣味などそれぞれ違いますが、救いを妨げている「欠けている一つ」、心の手で強く握っている一つを持っているわけです。その一つのことを救いがかかっているとしますと、その一つはすべてになります。言うまでもないことですが、救いとは神様から与えられます。神様は、私たちに救いのために一つのことを手放すように求めておられます。では、いかがでしょうか。あなたにとってその一つのこと、執着して手放せない一つのこととは何なのでしょう。 (※聖書は裏面に記載されています)

## <福音書> マルコによる福音書 10章17～27節

17 イエスが道に出で行かれると、ある人が走り寄り、ひざまずいて尋ねた。「善い先生、永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいでしょうか。」18 イエスは言われた。「なぜ私を『善い』と言うのか。神おひとりのほかに善い者は誰もいない。19 『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな、奪い取るな、父と母を敬え』という戒めをあなたは知っているはずだ。」20 するとその人は、「先生、そういうことはみな、少年の頃から守ってきました」と言った。21 イエスは彼を見つめ、慈しんで言われた。「あなたに欠けているものが一つある。行って持っているものを売り払い、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を積むことになる。それから、私に従いなさい。」22 彼はこの言葉に顔を曇らせ、悩みつつ立ち去った。たくさんの財産をも持っていたからである。

23 イエスは弟子たちを見回して言われた。「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか。」24 弟子たちはこの言葉を聞いて驚いた。イエスは重ねて言われた。「子たちよ、神の国に入るのは、なんと難しいことか。25 金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通るほうがまだ易しい。」26 弟子たちはますます驚いて、「それでは、誰が救われることができるのだろうか」と互いに言った。27 イエスは彼らを見つめて言われた。「人にはできないが、神にはできる。神には何でもできるからだ。」